

2017年10月号

特集：「いま、データセンタが熱い！」

光通信システムおよび送受信器の研究開発は、長距離大容量における空間分割多重伝送技術・光ファイバ関連部品と平行して、データセンタ内・データセンタ間のネットワークの新しい構成、高速・低消費電力の光送受信器、国際標準化の動きがホットトピックスである。Google、Facebook、Microsoft、Appleなどのハイパージャイアントと呼ばれる事業者の運営するデータセンタで扱うインターネット・トラフィック量が全世界の30%に至る中、データセンタ内でやり取りされるトラフィックがその80%程度を占める状況のためである。主要国際会議で取り上げられるセッションやシンポジウム の話題としてもしばらくその傾向は変わらないと予測される。

そこで本企画では、データセンタに関わるネットワークの構成、高速・低消費電力化に向けて開発の進む光送受信器の動向、国際標準化の情報を取り上げ、今後のネットワークに関する将来の方向性を感じ取ることを目的とする。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	データセンタ内ネットワーク構成の研究開発動向	大阪大
3	大規模データセンタ向け光スイッチングシステム	名古屋大
4	400G級イーサネット光送受信器の研究開発動向	住友電工
5	VCSELを用いた高密度光インターコネク ト技術：広帯域光エンジン	古河電工
6	小型・高速・低消費電力を目指すシリコンフォトニクス光送受信器 (光I/Oコア)	PETRA
7	高速光トランシーバの国際標準化動向	富士通オプティカルコンポーネント

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2017年9月25日
 申込締切：2017年8月25日
 原稿締切：2017年8月29日